

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
《第4次千葉県男女共同参画計画》令和元年度事業 評価シート

施策コード 168

事業名	男女共同参画センターにおけるフェスティバルの開催、情報誌の発行
担当課	男女共同参画課(男女共同参画センター)

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	1,263			決算額計(千円)	775		
事業の概要・目的	<p>【男女共同参画フェスティバル】 県民に、男女共同参画への理解を深めていただくことを目的とした、「男女共同参画フェスティバル」を開催する。 【情報誌の発行】 男女共同参画を推進するため、男女共同参画センターの事業内容や、男女共同参画に関する情報等を掲載した情報誌を、年2回(各12,000部)発行する。 市町村や男女共同参画関連施設等への配布、及びホームページへの掲載により、広く県民に対し広報・啓発を行う。</p>						
数値目標など							
指標名等	<p>①社会全体で男女の地位が平等になっていると思う人の割合 (男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査) ②女性の権利に関する法制度の認知度 (男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査)</p>						
目標	①増加を目指します。 ②増加を目指します。	実績	—				

2 事業の実施結果

<p>【千葉県男女共同参画フェスティバル】 落語家の柳家三之助氏による講演会、講演終了後はワークショップ(6団体)を開催した。 【情報誌】 「eパートナーちば」No. 26及びNo. 27を、それぞれ9月末と3月末(各12,000部)の年間2回発行した。</p>

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	-	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-	

(2)改善点等

<p><改善した点> 【千葉県男女共同参画フェスティバル】 定員数の少ないワークショップは事前申込みを設けることで、参加者が安心して複数のワークショップに参加できるよう工夫した。 【情報誌】 幅広い世代、ニーズに合わせた内容を掲載することにより、あらゆる人々に向けて男女共同参画を啓発することができた。</p> <p><課題・今後改善すべき点> 【千葉県男女共同参画フェスティバル】 幅広い世代が参加しやすくなるよう、魅力ある講師による講演会やワークショップの開催等、更なる工夫をしていく。 【情報誌】 より多くの方に興味を持って読んでもらえるよう、掲載内容や紙面構成を更に工夫していく必要がある。</p>

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
《第4次千葉県男女共同参画計画》令和元年度事業 評価シート

施策コード 169

事業名	各種講座・研修会の開催
担当課	男女共同参画課(男女共同参画センター)

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	2,643			決算額計(千円)	1,912		
事業の概要・目的	男女共同参画社会の実現を目指し、県民意識の醸成や人材育成を図るため、県民ニーズに対応した、各種講座を企画運営する。						
数値目標など							
指標名等	千葉県男女共同参画センターの研修等参加者数						
目標	164名	実績	395名				

2 事業の実施結果

【男女共同参画シンポジウム&ネットワーク会議】
講演会として、油井文江氏による「誰もが活躍チャレンジ！いまどき仕事の選び方、働き方」と堀正仁氏による「副業が福業を呼ぶ あなたの働き方改革」と、ネットワーク会議を行った。

【関係機関との連携講座】
・大学等との連携
千葉商科大学、日本政策金融公庫、一般財団法人SFCフォーラム、はじめてWEBと連携し、「女性のための起業チャレンジセミナー」と題し、女性の起業支援講座を2日間実施した。1日目は、上田将史氏による講義を行い、2日目には上田将史氏による講義の他に、パソコンを使った実習の時間を設けた。実習の講師には、山本和泉氏をお呼びした。

・地域団体との連携
千葉県医師会と連携して、「人生の選択と終い方」をテーマに、医師による講義とお話し会を実施した。

【女性リーダー養成講座】
地域活動の場などにおいて、リーダーとして活躍する人材育成を目的とし、「女性が働くこと」をテーマに、それぞれの女性の目標に合わせて、就労・就農・起業とジャンルを分けて講演を行った。(全5回)

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	○	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	

(2)改善点等

<改善した点>
「大学等との連携講座」では、民間企業・団体、公的機関とともに連携することで、より専門性・先進性の高い、また、初心者にもわかりやすい講座が実施できた。

<課題・今後改善すべき点>
各種講座において、より幅広い世代の参加や、参加者の更なる増加のため、今後も企画内容、開催日程、広報等を工夫する必要がある。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》令和元年度事業 評価シート

施策コード

170

事業名	ホームページ、メールマガジン等による情報発信
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	施策コード169の予算に含む			決算額計(千円)	施策コード169の決算に含む		
事業の概要・目的	県及び県内市町村が主催する男女共同参画や女性に対する暴力に関するイベント、協働事業等の情報をメールマガジンに掲載、発行する。また、県内市町村が開催するイベント等を男女共同参画課ホームページに掲載する。						
数値目標など							
指標名等	メールマガジン配信回数						
目標	月2回発行	実績	月2回発行				

2 事業の実施結果

登録者数約1,500人に対し、メールマガジンを発行した。 県が開催するイベントやセミナーで、広報チラシを配布した。
--

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	-	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	-	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	-	メール配信のため登録者の性別は把握していない。
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	メール配信のため登録者の性別は把握していない。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	-	メール配信のため登録者の性別は把握していない。
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-	

(2)改善点等

<改善した点>

県内における男女共同参画に関する記事の充実を図った。

<課題・今後改善すべき点>

男女共同参画に関する情報を周知するため、更なる掲載記事の充実と登録者数の増加を図る必要がある。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》令和元年度事業 評価シート

施策コード **171**

事業名	関係機関等が行う研修会等の取組に対する支援
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	0			決算額計(千円)	19,138		
事業の概要・目的	男女共同参画について理解を深めるため、県職員・教職員に対する研修をはじめ、市町村や企業、各種団体などの依頼により、県職員を講師として派遣する。						
数値目標など							
指標名等	関係機関等が行う研修会等への講師派遣回数						
目標	5回以上	実績	4回				

2 事業の実施結果

受講者の受講後の感想では、行政職員からは、男女共同参画は進んでいると答えた人が、あまり進んでいないと答えた人を若干上回っていた。また、講義後の印象として、行政職員の方は、男女共同参画に興味湧きにくいという印象を受けた。他方、学生の方は、男女共同参画を知らない方がほとんどだったが、講義後は、男性の育児参加やデートDVなどとも興味を抱いたり、世界の中の日本の現状を知り、大人になっていくときに自分はどのようにしていくべきかを考えるきっかけになったようだった。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	固定的な性別役割分担などの意識改革のための講座でもある。
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	課内(男性女性双方)で検討の上、企画立案した。
3	性に起因する問題に配慮したか	○	医大入試における合格者について、女子受験者を故意に落とした事案等を紹介し、性差別の問題を身近な問題として捉えてもらい、意識改革を促す講義となっている。
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	通常の勤務時間内、又は、就学時間内。
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	—	特に収集していない。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	男女共同参画基本計画の趣旨に則った、男女共同参画に関する広報啓発となっている。
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	固定的な性別役割分担意識の解消のサンプルとして、DR.スミスのクイズを紹介した。
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	ワークライフバランスの普及啓発として、県における取組や働き方改革の改正法の概要を紹介した。
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	広い意味で男女共同参画の促進に貢献するようにした。

(2)改善点等

<改善した点>
 男女共同参画における日本の状況を説明するため内閣府の統計データを用いたが、中学生向けの講座において、更にわかりやすくするため、見てほしいポイントに矢印を加えたり、色を変える等工夫をした結果、受講者からとても分かりやすかったとの感想をいただいた。

<課題・今後改善すべき点>
 現在、講義テキストは1種類のため、職員向けと学生向けで、テキストの内容を分けて工夫する必要があると感じた。講師は、原稿を見ないで話せるよう話術の訓練も必要。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
《第4次千葉県男女共同参画計画》令和元年度事業 評価シート

施策コード

172

事業名	あらゆる人々への意識啓発の展開
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	106			決算額計(千円)	73		
事業の概要・目的	男女共同参画計画及びDV基本計画を未策定等の市町村において、男女共同参画啓発及びDV防止パネルの貸し出しを行い、住民意識の向上を図るとともに、市町村における男女共同参画施策の推進を支援する。						
数値目標など							
指標名等	男女共同参画計画及びDV基本計画策定市町村数						
目標	全市町村	実績	41市町				

2 事業の実施結果

市町村へのパネル貸出について、佐倉市に1回、富里市に1回、野田市に1回の貸出を行った。また、6月23日から6月29日までの男女共同参画週間に合わせて、そごう千葉店で男女共同参画パネルの展示会を行った。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック

No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	固定的な性別役割分担を解消するため、パネルを閲覧する人々の意識改革をめざす事業である。
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	企画立案段階で上席、課内担当班員で企画した。
3	性に起因する問題に配慮したか	○	性に起因する問題に配慮しつつ、改善を促す事業。
★視点2 受益の公平性			
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	男女双方が利用する千葉そごうにて展示を行った。
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	パネルは展示をするため、閲覧・利用した人々の性別データは取っていない。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	パネルの内容は全て男女共同参画に係るものであり、一方に偏った受益となっていない。
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	パネルに「男女共同参画社会に向けての県民意識調査」で県民に伺った、家事や育児の参加時間・役割分担の集計結果を掲載し、役割分担意識の解消を促した。
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	家庭内での男女の役割や労働時間の調査結果パネルに記載し、仕事と生活の調和について考えるきっかけを作った。
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	事業分野における男女別の活躍度数を示し、男女共同参画の促進を促した。

(2)改善点等

<改善した点>

既存のパネルについて掲載情報を時点修正するとともに更新し、内容の充実を図った。

<課題・今後改善すべき点>

市町村へのパネルの貸出について、毎年3、4件の申請しかないので、利用の呼びかけをしていく必要がある。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進

《第4次千葉県男女共同参画計画》令和元年度事業 評価シート

施策コード

173

事業名	関係機関との連携による専門講座
担当課	男女共同参画課(男女共同参画センター)

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	施策コード169の予算に含む			決算額計(千円)	施策コード169の予算に含む		
事業の概要・目的	男女共同参画社会の実現を目指し、県民意識の醸成や人材の養成を図るための各種講座のほか、大学や地域団体等との連携により専門性・先進性の高い、社会経済情勢に対応した講座を開催する。						
数値目標など							
指標名等	①指標名:社会全体で男女の地位が平等となっていると思う人の割合(男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査) ②女性の権利に関する法制度の認知度(男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査)						
目標	①増加を目指します。 ②増加を目指します。	実績	—				

2 事業の実施結果

<p>・大学等との連携 千葉商科大学、日本政策金融公庫、一般財団法人SFCフォーラム、はじめてWEBと連携し、「女性のための起業チャレンジセミナー」と題し、女性の起業支援講座を2日間実施した。1日目は、上田将史氏による講義を行い、2日目には上田将史氏による講義の他に、パソコンを使った実習の時間を設けた。実習の講師には、山本和泉氏をお呼びした。</p> <p>・地域団体との連携 千葉県医師会と連携して、「人生の選択と終い方」をテーマに、医師による講演とお話し会を実施した。</p>

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	○	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	

(2)改善点等

<p><改善した点> 関係機関の専門的な知見を活かした多様な講座を実施して、多くの県民に参加いただくことが出来た。</p> <p><課題・今後改善すべき点> 今後も社旗のニーズを捉えたテーマを企画し、幅広い世代が参加し、満足いただけるように講座内容の充実を図っていく。</p>
--

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
《第4次千葉県男女共同参画計画》令和元年度事業 評価シート

施策コード 174

事業名	男女共同参画センターにおける相談事業の実施
担当課	男女共同参画課(男女共同参画センター)

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	2
当初予算額計(千円)	20,017			決算額計(千円)	19,138		
事業の概要・目的	一人ひとりがそれぞれ自立し、自分らしく生きていけるように、女性及び男性の総合相談窓口として、一般相談及び専門相談を実施する。 また、配偶者暴力相談支援センターとして、DV被害女性並びに男性の相談・カウンセリングに応じる。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

<p>【女性のための総合相談】 延べ6,843件の相談に応じた。(電話相談6,102件(うちDV相談843件)、面接相談233件(うちDV相談197件)、カウンセリング439件(うちDV相談266件)、法律相談38件(うちDV相談37件)、こころの相談31件(うちDV相談27件))</p> <p>【男性のための総合相談】 延べ671件の相談に応じた。(電話相談577件(うちDV相談46件)、カウンセリング94件(うちDV相談69件))</p> <p>【相談業務支援スーパービジョン】 行政機関で同様の相談業務に従事する相談員等の資質向上を図るため、外部の専門家から助言・指導を受けるスーパービジョンを開催した。 講師: 平川和子(東京フェミニストセラピセンター所長)(月1回 年度計9回)</p>

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
企画・立案過程	1 事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
	2 企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
	3 性に起因する問題に配慮したか	○	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
実施結果・効果	4 女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
	5 事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
	6 男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
実施結果・効果	7 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
	8 ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
	9 事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	

(2)改善点等

<p><改善した点> 子どもを連れて面接に来ることができるようにするため、保育士が対応する託児施設を用意した。</p> <p><課題・今後改善すべき点> LGBT等「男性・女性に該当しない性別」の相談者への対応や、外国語にも対応できる環境整備について考慮していく必要がある。</p>

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》令和元年度事業 評価シート

施策コード **175**

事業名	男女共同参画苦情処理制度の活用
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	2
当初予算額計(千円)	179			決算額計(千円)	24		
事業の概要・目的	男女共同参画社会基本法等の趣旨に則り、県が実施する男女共同参画社会の形成に資する施策及びこれに関連する施策に関する苦情並びに男女共同参画推進施策を阻害する要因によって人権が侵害された事案について、県民等から苦情の申出があった場合に、千葉県男女共同参画苦情処理委員が公正・中立な立場から調査を行い、適切かつ迅速に処理する。						
数値目標など							
指標名等	なし						
目標		実績					

2 事業の実施結果

令和元年度の申出なし

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	男女共同参画の推進を目標にしている制度であり、固定的な性別役割分担の解消を目指している事業である。
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	企画立案段階で、課内担当班、上席が参画した。
3	性に起因する問題に配慮したか	○	男女共同参画の推進を目標にしている制度であり、性に起因する問題についてもその解消を目指しており、男女共同参画に関する各施策に対する県民からの苦情等に迅速に対応する事業である。
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	県民にとっては、男女センターが窓口になっているが、ケースバイケースでできる限り配慮している。
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	—	申請に当たり、性別に記入は求めている。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	県民全体の受益を考慮した制度である。
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	男女共同参画の推進を目標にしている制度であり、固定的な性別役割分担の解消を目指している事業である。
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	男女共同参画の一施策として、ワークライフバランスは位置付けられているので貢献することを目指している制度と言える。
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	男女共同参画の一施策として、民間への取組も施策の一つと位置付けられているので、事業分野に貢献することを目指している制度と言える。

(2)改善点等

<p><改善した点> 昨年度は申請なし。</p> <p><課題・今後改善すべき点> 労働法制の相次ぐ改正への対応については、内閣府の苦情処理制度制度では、セクシャルハラスメント・パワハラについて同制度の対象としているが、本県では、千葉県男女共同参画設置要綱において、男女雇用機会均等法に該当する事項については本制度の適用除外としていることから、令和2年6月1日施行の労働施策総合推進法基本指針に盛り込まれた、パワハラやLGBTに関する事項についても同様の扱いとし、要綱等の所用の改正を行う。</p>

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
《第4次千葉県男女共同参画計画》令和元年度事業 評価シート

施策コード 176

事業名	千葉県男女共同参画推進連携会議の充実
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	3
当初予算額計(千円)	2,818			決算額計(千円)	1,570		
事業の概要・目的	県と連携しながら民間における男女共同参画の自主的な取組を推進することを目的に、産業・地域・教育分野における県域組織で構成された男女共同参画推進連携会議により、県と団体・団体相互の意見・情報交換や研修会、講演会等を開催するとともに、団体及び参加団体へ幅広く働きかけを行う。						
数値目標など							
指標名等	男女共同参画推進連携会議全体会及各部会参加者数						
目標	360名以上	実績	358名				

2 事業の実施結果

産業・女性活躍推進特別合同部会、産業部会、地域・教育・女性活躍推進特別合同シンポジウム、地域・教育合同部会を、計4回開催した。延べ参加団体は、31団体、参加者数は、358名であった。参加者の満足度は非常に高く、事後アンケートでは、各部会参加者の9割以上が「非常に役に立った」「役に立った」と回答した。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
	3	性に起因する問題に配慮したか	○	
	★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明	
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	より多くの県民に参加してもらえるように、シンポジウムの開催日を休日の午後にした。	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○		
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○		
実施結果・効果	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	シンポジウムにおいて、夫婦間の「家事ギャップ解消」をテーマとしたパネルディスカッションを行った。
	8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○		

(2)改善点等

<改善した点>
女性の活躍を推進するためにはパートナーである男性の協力が不可欠であるため、令和元年度は、「夫婦間の家事ギャップ解消」をテーマに、講演とパネルディスカッションを実施した。
また、より多くの県民に参加してもらえるように、開催日を休日の午後にしたことで、メインターゲットとなる20～40代の子育て世代が半数以上参加するなど、普段、男女共同参画関連イベントへの参加が多くない方々に強く訴えかけることができた。

<課題・今後改善すべき点>
参加者の増加に向け、講演会等の開催に係るチラシを関係団体等に配布するとともに、県が実施するイベントや講座など様々な機会において配付するなど、講演会等の開催について幅広く周知する必要がある。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》令和元年度事業 評価シート

施策コード **177**

事業名	千葉県男女共同参画社会づくりネットワーク会議の充実
担当課	男女共同参画課(男女共同参画センター)

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	3
当初予算額計(千円)	施策コード168の予算に含む			決算額計(千円)	施策コード168の予算に含む		
事業の概要・目的	県民団体と県民が一同に会し、共通のテーマについて意見交換をする機会を提供し、一層の交流促進を図る。						
数値目標など							
指標名等	男女共同参画ネットワーク会議参加者数						
目標	30	実績	21				

2 事業の実施結果

シンポジウムと同日に開催し、「本日の講演で感じたこと」や「それぞれが考える働き方・副業」についてグループ意見交換を行うことで、県民の交流を図った。(参加者数:シンポジウム35名、ネットワーク会議21名)

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	-	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	

(2)改善点等

<改善した点>
 各グループにファシリテーターとして中小企業診断士に参加していただくことで、より専門性の高い話を聞き、質問をすることができるグループワークとなった。

<課題・今後改善すべき点>
 さらに多くの県民と多様な意見交換ができるよう、十分な時間を確保する必要があると思われる。